

平成26年12月28日

長浜市議会議長 竹本直隆様

長浜市議会活性化検討委員会
委員長 中 鳶 康 雄

議会改革に関する答申

議長から諮問のありました「長浜市議会における議会改革について」、検討委員会を開催し、慎重に議論を重ねてきたところであります。

つきましては、その結果について下記のとおり答申いたします。

記

当委員会では、諮問のあった中期的事項について次のとおりまとめましたので答申致します。

1. 中期的事項（出来るだけ早期に検討すべき事項）

(1) 通年議会の導入検討

「通年議会」や「通年会期」の取り組みは重要であり今後、他市等の取り組みを参考にしながら更なる検討を深めていただきますよう申し出致します。

(2) 議員定数及び議員報酬等の検討

当議会活性化検討委員会での検討結果として、今回、議員定数や報酬について、当委員会の中で別添資料記載のとおり委員から出された内容についてまとめさせていただきました。

その結果、今後につきましては

- ①人口規模や市域面積、地域性や他市との比較
- ②市の財政規模や財政状況並びに市民の意見の反映
- ③若者が参加できる報酬面を含めた環境づくり

以上三点を考慮しながら通年議会や通年会期の検討とともに議員定数や報酬（交通費等の費用弁償を含む）の議論をさらに深めていただきますよう申し出致します。

(3) 倫理条例の再検討

議員は、市長その他の執行機関及びその補助機関並びに関係団体（地方自治法第244条の2第3項に規定する市の指定管理者及び市が資本金その他これに準ずるものを出資している法人）等その役職員に対し、その地位を利用すること等市民から批判を受けないよう見識を高めるとともに、倫理条例について、法律等に詳しい先生等を招き事例等実務として、参考になる研修を深めるよう意見がありましたので申出致します。

多数議員のメリット・デメリット

カテゴリー		出された意見
メリット	市民の意見が多く聞ける	地域の意見が多く聞ける
		地域の意見が多く聞ける
		地域の要望が細かく議会に反映される
		地域の要望が細かく議会に反映される
		市民の意見を吸い上げやすい
		市内全域の問題点事が市政に反映される
		選挙に当選しやすい(住民の意見を多く市政に届けられる)
		少ない人口エリアからも議員が選出され議員無しのエリア防止となる(特に長浜は広いので)
	議論ができる	多数議員の数多くの意見が出る
		多数議員の数多くの意見が出る
委員会構成が充実する	議会での議論が活発になる	
	議案が通る	
		3常任委員会の割り当ても必要なので少な過ぎても困る

デメリット	経費がかかる	報酬増、事務コスト増
		お金がかかる
		議員の経費が多くなり行政の赤字が広がる
	合意形成が難しい	合意形成がしにくい
		意見の集約が難しくなる
		会議の中で話しが活性化しない
その他	議員の資質のハードルを高くしなければいろんな人が出すぎる	

少数議員のメリット・デメリット

カテゴリー		出された意見
メリット	経費がおさえられる	低コスト
		低コスト
		報酬減
		経費がおさえられる
		経費がおさえられる
	合意形成しやすい	合意形成しやすい
合意形成しやすい		
協議が早くまとまる 議員間の意見が共有できる		

デメリット	市民の意見が反映しにくい	より多くの市民の声が聞けない
		市民の意見が反映しにくくなる
		市民の声がとどげにくい
		市民の声がとどかない
		有権者の選択肢が狭く選挙に関心が薄くなる
		人口の少ないエリアから議員が居なくなる恐れがある
	議会活動が鈍化する	議会での多様な意見による議論が不活発となる
		広範な長浜市内においてはきめ細かい政策が難しい
		議案の件数が少なくなる?
	委員会構成が不足する	委員会構成が難しくなる
		各委員会の構成に不足感
	その他	仕事量が増える
有権者の選択肢が狭く選挙に関心が薄くなる		

議員定数は何を根拠とするのか

カテゴリー	出された意見
人口	人口規模
	人口規模
	人口規模
	人口規模
	人口当たりの数値
	人口当たりの数値
	住民数
	人口比率
	人口比率
	面積
面積	面積割合
	区域比
地域性	地域性
	地域性
他市比較	各市町村の平均(赤字を加味する)
	他の同等都市人口との比較で決める
財政規模	財政規模
市民の意見	市民の合意、意見

報酬は何を基本とすべきか

カテゴリー	出された意見
人口	人口比率
	人口比率
	人口比率
	人口比率 補足: 報酬は少ないとなりにくい方が多くなる
経済比較	経済に見合った
	市民の暮らし(生活費)との比較
	市職員の給与との比較
定数	定数
	人口数/議員定数 × a
議員活動	議員活動の度合
他市との比較	同等他市と平均的な金額とする
市民の意見	市民の意見、合意が必要

議員定数・報酬の議論はなぜ必要か

カテゴリー	出された意見
議員活動に見合った報酬とすべき	議員活動の質の高さが求められる時、議員の経済保証も必要となる
	議員活動に十分に専念できる報酬が必要
	議員活動に専念できる環境づくりには双方必要
	議会改革(通年議会の導入など)をすると議員一人一人の負担が増え議会活動に集中しなければならない
	議員としての仕事ができる?
	市議会議員の報酬だけでは生活できない、少なすぎる 40代~50代しかし、定年後の者としては多すぎる ※定数とは別な考え
	市民の方への仕事をするために報酬UP
市民の意見を反映させる	市民の意見を十分に吸い上げできる人数(人は割合)
	市民からの意見(高い、安い)
	市民に納得してもらえるロジックを見い出すべき
	市民の市議会への理解を深めるため
定数削減は慎重に行うべき	市民の方への報告の中での仕事の内容をもっと
	定数は長浜の地域性を考えれば削減は慎重に
	報酬は若い世代に議員の門戸を開くためには削減は慎重に
	報酬を高くするなら定数を減らすのはまちがい プロの市議会議員が出てこない